



ゲーム説明書

お宝発掘チキンゲーム D i g i t !

目次

入っているもの	3
ディグイットを遊ぼう！	4-6
詳しい説明	7-8

製作
ゲームデザイン
美術

GOTTA2
ばろぬ
ROD

感想、質問等はこちら
ホームページはこちら

gotta2@gotta2.jp
<http://gotta2.jp/>

Dig it !

～宝石を求めて、掘りまくれ！～

更新日

: 2012 3/15 めくれ

あらまし

: 宝石狙って、カードの鉱脈を掘れ！
どこまで掘るかはキミ次第！まだ出る、もう出ない！？
さあ皆でLet's Dig it ! 特上の興奮を今、貴方に！

ゲーム概要

: 宝石を求めて、カードをめくります。
より多くの宝石を手に入れた人が勝ちです。

参加人数

: 2～6人用

所要時間

: 10分

内容物

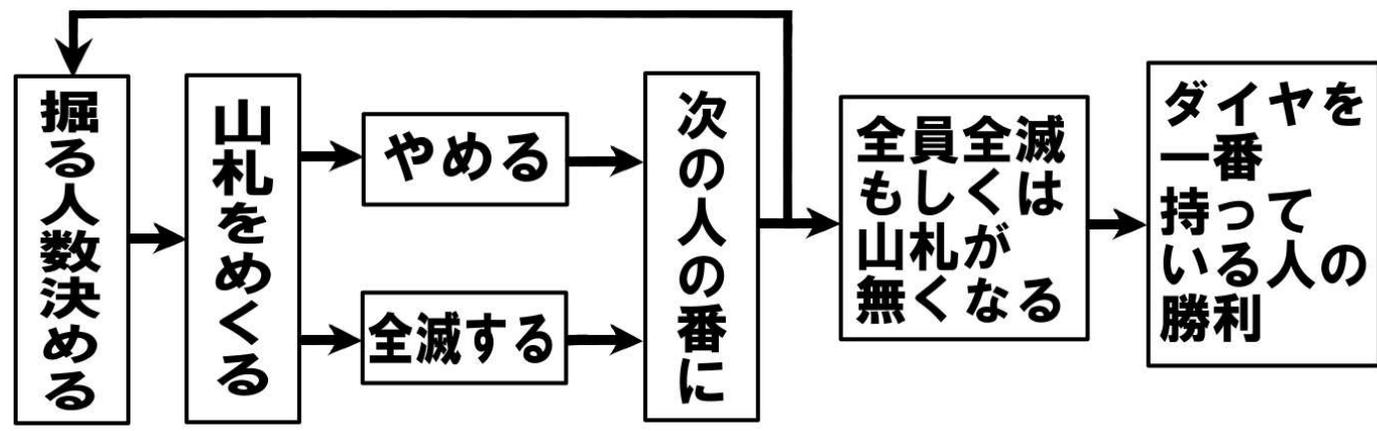
<p>(1)「鉱夫」カード</p>  <p>12枚</p>	<p>(2)「つるはし」カード</p>  <p>16枚</p>												
<p>(3)「宝石」カード</p> <table border="0"><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3点 3枚</td><td>2点 5枚</td><td>1点 12枚</td></tr></table>				3点 3枚	2点 5枚	1点 12枚	<p>(4)「事故」カード</p> <table border="0"><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3人 1枚</td><td>2人 3枚</td><td>1人 8枚</td></tr></table>				3人 1枚	2人 3枚	1人 8枚
													
3点 3枚	2点 5枚	1点 12枚											
													
3人 1枚	2人 3枚	1人 8枚											
<p>総合計60枚</p>													





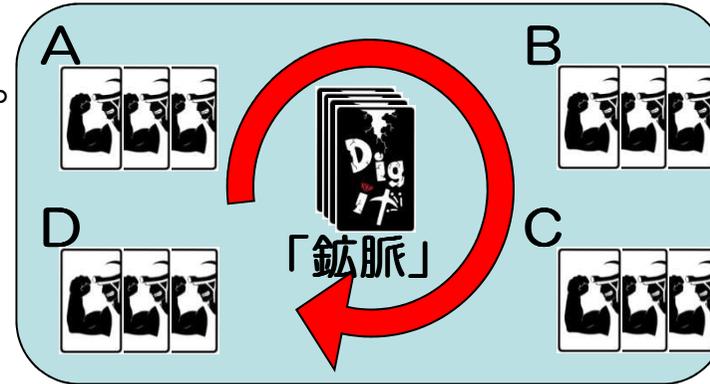


ゲームの進め方



☆ゲーム用意

1. 1番ダイヤが好きな人が用意をします。
2. 「宝石」カードと「事故」カード、「つるはし」カードを裏向きにし、よく混ぜて全て重ねて山札を作ります。
3. 山札を「鉱脈」として中央に置きます。
4. 「鉱脈」の上から「5枚」を裏向きのまま、「捨て札」にします。
5. 「鉱夫」カードを配ります。
 - (1) 2～4人では3枚ずつ。
 - (2) 5、6人では2枚ずつ。
6. 用意をした人が最初の手番に
順番は時計周りでゲーム開始！



☆ゲーム開始！

1. 何人で掘るか決めます
 - (1) 決めた人数分の手元の「鉱夫」を前に出します。

(例) プレイヤーAは掘る
人数を2人に
決めました



2. 「鉱脈」を掘ります。
 - (1) 「鉱脈」を上から1枚めくります。
 - (2) 「鉱夫」が残っている限り、何枚めくっても構いません。
※掘ったら何が出た？を参照
 - (3) めくるのを止めるか、掘っている「鉱夫」が全滅したら、
「鉱夫」の裏表を変えず手元に戻し、次の人の番です。

☆掘ったら何がでた？

まず、掘るのを止めた時に初めて、「ダイヤ」は持って帰れます。
それまでは、まだ「ダイヤ」は「鉱夫」と一緒に地下にあります。

1. 「つるはし」が出たら

取れる行動は、掘るのを止めるか／さらに掘るか です。

2. 「ダイヤ」が出たら

(1)まず「ダイヤ」を掘ってる最中の「鉱夫」の横に
表向きで置きます

(2)取れる行動は、掘るのを止めるか／さらに掘るか です。

3. 「事故」が出たら、

(1)まず「事故」の人数分掘っている「鉱夫」を
裏向きにします

※ 掘っていない「鉱夫」は
裏向きになりません。

取れる行動は、掘るのを
止めるか／さらに掘るか です。



(2)「鉱夫」が全滅した場合(「鉱夫」が全て裏向きの場合)

①残念全滅です。「ダイヤ」は持って帰れません。

②次の人の番になります。次の回はお休みで、
1枚「鉱夫」を表にします。

☆ゲームの終わり

「鉱脈」が無くなった時／全員、全滅した時

☆得点計算

一番「ダイヤ」を獲得していた人の勝ちです。